

資料

参考文献

- Child Pornography on the Internet (1999). Annual report by Redd Barna Norway.
- Children on the Internet - Opportunities and Hazards. Ed. by John Carr and Annie Mullins. NCH Action for Children.
- Akdeniz Yaman (1997): The Regulation of Pornography and Child Pornography on the Internet. University of Leeds, UK.
- Skoog Douglas M., Murray Jane L.(1998): Innocence Exploited: Child Pornography in the Electronic Age. Canadian Police College, The University of Winnipeg.
- Illegal and Harmful Use of the Internet (1998). Department of Justice, Equality and Law Reform, Ireland. First Report of the Working Group.
- Rating and Filtering Internet Content -A United Kingdom Perspective (1998). Internet Watch Foundation
- Aftab Parry (1997): A Parent's Guide to the Internet... and how to protect your children in cyberspace. New York.
(<http://www.familyguidebook.com>)
- Commercial Child Pornography in Sweden - Silenced Knowledge & Obscured Oppression (1996). A pamphlet from Folkaktionen mot Pornografi (The People's Organisation against Pornography) Stockholm.
- O'Connel Rachel (1999): Paedophile Networking and the Internet. in UNESCO International Clearinghouse on Children and Violence on the Screen, *News on Children and Violence on the Screen*: Goteborg, Sweden.
- European Union Green Paper on the Protection of Minors and Human Dignity in Audiovisual and Information Services.
(<http://europa.eu.int/en/record/green/gp9610/protec.htm>)
- Rinaldi, Arlene H. (1998): The Net: User Guidelines and Netiquette.
(<http://www.fau.edu/netiquette/net/index.html>)
- Mark Erik Hecht and Rodney Neufeld (1999): The Internet and International Children's Rights. A chapter from Human Rights and the Internet, edited by Hick, Halpin and Hoskins.

ECPAT International


File Edit View Go Communicator Help

Back Forward Reload Home Search Ecpat Internet Email Print Stop

Bookmark Go to: <http://www.ecpat.net/childpornbook.html> What's Related

便利なウェブサイト

- **Action for Children in Cyberspace (US)** - Center for Media Education (CME <http://www.cme.org>)は電子メディアの質の向上——特に、子どもや家族のために——に焦点を当てている。
- **The Anti Pedophile Network** (<http://hotstreak.net/anti/>) は報告書集、最新情報及びリンクを提供している。インターネット上の子どもポルノの通報を受けるサービスは「インターネット監視財団」と連携している。
- ドイツの**The Bertelsmann Foundation** (<http://www.stiftung.bertelsmann.de/internetcontent>) はインターネット上の子どもポルノに関する報告書作成を委嘱している。
- **誓約の家 (Casa Alianza)** (<http://www.casa-alianza.org>) は中南米におけるストリート・チルドレンへの援助と子どもの性的搾取に対する闘いを支援するために、情報提供、情報収集及び法的対応のコーディネートを行なっている。
- **Child Rights Information Network (CRIN)** (<http://www.crin.org>)
- **Childnet International** (<http://www.childnet-int.org>) は国際コミュニケーションにおける子どもの利益を保護することを目的としている。インターネットを利用する子どもたちの意識を高める方法に関する情報をヨーロッパ全域の親や教師に提供するためのサイトもある (<http://www.netaware.org>) 。
- **欧州連合 (European Union) のサイト** (<http://europa.eu.int/ISPO/iap/>) はインターネットのより安全な利用を促進するための行動計画に関する情報を提供している。この計画ではヨーロッパ規模のフィルタリング・ソフトが検討されており、ヨーロッパのホットライン・システムの創設に関する提案を募集している。
- **Meldpunt** (<http://www.meldpunt.org/>) はウェブ上の子どもポルノに関する最初のホットラインで、1996年にオランダで開設された。
- **インターネット監視財団 (Internet Watch Foundation)** (<http://www.iwf.org.uk>) はホットラインを運営しており、報告書も提供している。
- **インターポール (Interpol)** (<http://www.interpol.int>)
- **The National Center for Missing and Exploited Children** (<http://www.missingkids.com>) は行方不明の子どもたちに関する世界規模での情報提供をコーディネートしている。
- 1999年に開催された「**インターネット上の子どもポルノとの闘いに関するウィーン会議**」のサイト (**The Vienna Conference on Combating Child Pornography on the Internet** <http://www.stop-childpornog.at>) ではこの政府間会議の記録を提供しており、今後の行動のための実践的な指針も提示している。〔訳注：翻訳時点では接続できなかった〕
- **ECPAT/ストップ子ども買春の会** (<http://www.ecpatstop.org>) は日本のエクパット関連団体であり、このサイトでは子どもの商業的性的搾取に関わる資料、関係団体へのリンクなどが提供されている。



インターネット・アクセス遮断／フィルタリング／利用追跡ソフト

- ・ Global Chalkboard <http://www.bascom.com> (英語)
- ・ ベス (BESS) <http://www.bess.net> (英語)
<http://filtering.nissho-ele.co.jp/> (日本語)
- ・ ChiBrow (The Children's Browser) <http://www.chibrow.com> (英語)
- ・ サイバーパトロール (Cyber Patrol) <http://www.cyberpatrol.com> (英語)
<http://www.netmedia.solution.ne.jp/products/cp/index.html> (日本語)
- ・ Security Software Systems社のCyber Sentinel <http://www.securitysoft.com> (英語)
- ・ Cyber Snoop <http://pearlsw.com> (英語)
- ・ サイバーシッターⅡ (CYBERSitterⅡ) <http://www.cybersitter.com> (英語)
<http://www.iqs-j.com/> (日本語)
- ・ KidDesk <http://www.edmark.com/prod/kdis/> (英語)
- ・ Net Nanny <http://www.netnanny.com/> (英語)
- ・ Net Shepherd <http://www.netshepherd.com> (英語)
- ・ 娯楽ソフト諮問委員会 (RSAC) <http://www.rsac.org> (英語)
- ・ Safe Surf <http://www.safesurf.com> (英語)
- ・ サーフモンキー (Surf Monkey) <http://www.surfmonkey.com/default.asp> (英語)
<http://japanese.surfmonkey.com/> (日本語)
- ・ Surf Watch <http://www.surfwatch.com> (英語)
- ・ The Internet Filter <http://www.turnercom.com/> (英語)
- ・ X-stop <http://www.xstop.com> (英語)
- ・ 財団法人インターネット協会 <http://www.nmda.or.jp/enc/rating/index.html> (日本語)
- ・ 日本語対応市販フィルタリングソフト <http://www.nmda.or.jp/enc/rating/nihongo.html> (日本語)

本ガイド英語版に記載されているソフトのうち、日本語版があることが確認できたものについては日本のサイトのURLを掲載したが、このサイトでは、これらを含め、日本語対応ソフトのリストが提供されている。

団体

- ・ Arcobaleno <http://www.viesse.it>
- ・ Australian Broadcasting Authority (ABA) <http://www.aba.gov.au>
- ・ Cyberangels <http://www.cyberangels.org>
- ・ Cyber Patrol <http://www.cyberpatrol.com/>
- ・ Cyber-Rights & Cyber-Liberties - Regulation of Child Pornography on the Internet
<http://www.cyber-rights.org/reports/child.htm>
- ・ Defense for Children <http://www.defence-for-children.org/>
- ・ Education Network Australia (EdNA) - Child Safety and the Internet
<http://www.edna.edu.au/EdNA/>
- ・ Enough is Enough - safety tips <http://www.enough.org>
- ・ Eurochild <http://www.eurochild.gla.ac.uk>
- ・ European Union Action Plan <http://europa.eu.int/ISPO/iap/>
- ・ Filtering Facts <http://www.filteringfacts.org> [訳注：サービス終了との表示が出る]
- ・ Focal Point against Sexual Exploitation of Children <http://www.focalpointngo.org/>

ECPAT International

File Edit View Go Communicate Help

Back Forward Reload Home Search Epat Internet Email Print Stop

Bookmark Go to: <http://www.ecpat.net/childbook.html> What's Related

- INCORE - Internet Content Rating for Europe <http://www.incore.org>
- INHOPE Association <http://www.inhope.org>
- The International Bureau of Children's Rights <http://www.web.net/~tribunal>
- The International Labour Organization (ILO) <http://www.ilo.org>
- The International Save the Children Alliance (ISCA) <http://www.savechildren.net>
- The International Criminal Police Organisation (INTERPOL) <http://www.interpol.int>
- The Internet Watch Foundation <http://www.internetwatch.org.uk>
- Movement Against Paedophilia on Internet (MAPI) <http://www.info.fundp.ac.be/~mapi/mapi-fr.html>
- A report on paedophilia on the Internet <http://www.info.fundp.ac.be/~mapi/toc.html>
- National Center for Missing and Exploited Children (NCMEC) <http://www.missingkids.com>
- NCH Action for Children (UK) <http://www.nchafc.org.uk/home.html>
- Netaware - Safe use of the Internet (an EU Awareness Project) <http://www.netaware.org>
- Net Mom <http://www.netmom.com>
- NetNanny <http://www.netnanny.com>
- PedoWatch - Monitorin Paedophilia on the Internet <http://pedowatch.org>
- Perkeo http://www.perkeo.net/englisch/e_index.htm
- Redd Barna (Save the Children Norway) <http://www.reddbarna.no/index.jsp>
- Radda Barnen (Save the Children Sweden) <http://www.rb.se/engindex.htm>
- Safeguarding our Children - United Mothers (SOC-UM) <http://www.soc-um.org>
- UNESCO Paedophilla Conference web site http://www.unesco.org/webworld/child_screen/news.html
- UNESCO International Clearinghouse on Children and Violence on the Screen <http://www.nordicom.gu.se/unesco.html>
- UNICEF <http://www.unicef.org>
- World Congress against Commercial Sexual Exploitation of Children <http://www.focalpointngo.org/yokohama/>
- Young Media Australia's Cyber Safety project <http://www.youngmedia.org.au/yma/Subpages/cyber.htm>

ホットライン

- **オーストラリア** <http://www.aba.gov.au/internet/complaints/complaints.htm>
子どもポルノその他の不快な素材を含むインターネット・サイトやニュース・グループに関する通報を受け付ける。「ネットアラート」(NetAlert <http://www.netalert.net.au/>) は子どもたちや家族に対してインターネットの安全な利用に関するアドバイスを提供する電話及びインターネットサービスである。
- **オーストリア** <http://hotline.ispa.at>
オーストリアのホットラインは子どもポルノとネオ・ナチズムに焦点を絞っている。違法コンテンツの発信元が海外でない場合には、その提供者に対して通知をし、削除を要請する。発信元が海外の場合には、関係当局に通知をする。さらに、ヨーロッパの他のホットラインにも通知をする。

Contents
Internet
Danger
Legal Issues
Protect Children
Resources
Appendix



・ **フィンランド** <http://www.poliisi.fi>

このホットライン・サービスは国家捜査局が運営している。電子メールは vihe.internet@krp.poliisi.fi

・ **フィンランド** <http://www.mll.fi>

「マナーハイム子どもの福祉連盟」(Mannerheim League for Child Welfare)の「子どもオンブズマン」(Children's Ombudsman)は子どもポルノ及びペドフィリア活動に関するホットラインと助言サービスを行なっている。

・ **ドイツ** <http://www.fsm.de>

FSMはドイツ国内が発信元のコンテンツのみを取り扱い、UsenetニュースやIRCも対象としていない。苦情を警察に通知することもしておらず、むしろ、問題のあるコンテンツの削除を勧告するという方法で対応している。

・ **ドイツ** <http://www.eco.de>

このホットラインはまだ業務を開始していないが、Usenetニュースグループに焦点を当てる予定である。違法と思われるコンテンツが見つかった場合には、ISPに通知する。コンテンツの発信元が国内であるか海外であるかは問わない。しかし、ECOは警察に通知はしない。〔訳注：翻訳時点では英語での情報提供はされておらず、ドイツ語ページのみである。ホットラインが開設されているかどうかは分からなかった。〕

・ **アイルランド** <http://www.hotline.ie>〔訳注：翻訳時点ではつながらなかった〕

このホットラインはアイルランド国内外からの通報を受け付けるものであり、子どもポルノと子どもの性的搾取のみを取り扱っている。ワールド・ワイド・ウェブとニュースグループは対象としているが、IRCについては限られた範囲でのみ対応している。通報されたコンテンツがアイルランド法に基づき違法であり、アイルランド国内のサーバーに置かれていると判断された時は、警察とISPの両方に通知がなされる。アイルランド国外に置かれている素材については外国の関係ホットラインに通知がなされる。

・ **オランダ** <http://www.meldpunt.org>

Meldpuntは違法コンテンツ提供者に警告をし、24時間以内に削除がなされなかった場合には警察に通知する。また、ISPに通知をして、必要な場合には、警察に協力するよう要請する。

・ **ノルウェー** children@risk.sn.no

ノルウェー国内外からの通報を受け付け、子どもポルノと子どもの性的搾取に特化している。ワールド・ワイド・ウェブ、Usenetニュース、IRCなどを対象としており、警察に情報を伝えるが、コンテンツ提供者やISPには接触しない。但し、ISPが一定の範囲の違法素材——例えば、ペドフィリアに焦点を絞った特定のニュースグループなど——へのアクセスを提供している場合には、接触をする。

・ **イギリス** <http://www.internetwatch.org.uk>

IWF(インターネット監視財団)はインターネット上のあらゆるソースに対応している。ISPに対して問題のあるコンテンツの削除を要請するとともに、イギリス国家犯罪情報局に通知を行なう。同局は国内であれ、国外であれ、担当の警察を特定し、情報を転送する。

・ **アメリカ** <http://www.missingkids.com>

このホットラインは子どもの商業的性的搾取のあらゆる側面を取り扱い、通報をデータベース化している。連邦の法執行機関はこのデータベースにアクセスすることができる。また、必要な場合には、地方の法執行機関に情報を提供している。子どもポルノに関する電話ホットラインは1-800-843-5678である。

・ **日本** <http://www.iajapan.org/hotline/>

「インターネットホットライン連絡協議会」は、インターネットに関するいろいろな問題の相談・通報窓口の実務担当者相互の情報共有や連携を目的として、2000年12月に設立された緩やかな連絡組織である。利用者は同協議会のホームページ上で、違法・有害情報や著作権侵害、プライバシー侵害、悪質商法といったインターネット上の様々なトラブルに対する相談窓口を検索して探すことができる。

付録

エクパットの子どもポルノに関する方針

- ・エクパットは、子どもを関与させる性的活動を描写し若しくは模写した、又はあからさまな仕方でもの性器を開示した、18歳未満の子どもあらゆる筆記、視覚的又は聴覚的描写に反対する。
- ・エクパットは、全ての国が擬似子どもポルノを含む子どもポルノの製造、頒布、輸入及び単純所持を犯罪とし、製造者、頒布者、輸入者及び／又は所持者に厳しい刑罰を科すべきであると信ずる。その際、犯罪意図又は商取引の証拠があることを要件としてはならない。エクパットは、全ての国において適切な立法がなされることを目指して、ロビー活動と意識喚起をすることにコミットする。
- ・エクパットは、子どもの権利一般及び性的搾取から保護される子どもの権利が大人のプライバシー及び言論の自由に対する配慮に優越すべきであると信ずる。子どもの最善の利益が優先されるべきである。
- ・エクパットは、インターネットに関係する子どもポルノの訴追を容易にする二国間及び多国間取り決めを含む立法及び法執行メカニズムの適切なモデルの検討を支持する。エクパットは、コンピュータ及びインターネットを利用した子どもポルノの伝送に関わる技術的問題に対する解決策を見付けるために、インターネット・サービス・プロバイダー（ISP）やソフト及びサーチ・エンジン製造業者と前向きかつ協力的な関係を構築することを目指している。
- ・エクパットはISPに対して、警察に子どもポルノを通報することを約束し、ユーザーにその意思を知らせるとともに、サイト上で子どもにやさしい情報を提供することを内容として盛り込んだ行動規範を定めることを奨励する。エクパットはISPに対して、子どもに対する性犯罪者によるインターネットの犯罪利用を防止するため、法執行機関にあらゆる可能な協力をすることを奨励する。
- ・エクパットは、子どもたちが子どもポルノの犠牲者や被写体となったり、インターネットを介して有害な素材に晒されたり、誘われたりするリスクを減少させることを可能にするような市民教育や意識喚起プログラムを支持する。
- ・よって、エクパットは、子どもたちや大人たちが子どもポルノを通報したり、インターネット利用に潜む危険について学んだりすることができる国内ホットラインや教育ウェブサイトの開設も奨励する。
- ・エクパットは、地元の警察の具体的な許可があり、彼らとの協力がなされていない限りは、また、教育目的で厳格に管理された状況下でない限りは、その業務において、スタッフやメンバーが子どもポルノを所持することは適切でないと考える。
- ・しかし、エクパットは、法執行機関が立法者や裁判官のような社会変革をもたらす可能性のある者に対して子どもポルノの例を示すことは奨励する。




ECPAT International

File Edit View Go Communicator Help

Back Forward Reload Home Search Ecpat Internet Email Print Stop

Bookmark Go to: <http://www.ecpat.net/childpoorbook.html> What's Related



用語集

ブラウザ：HTMLファイルを表示するグラフィカル・ユーザー・インターフェースを用いたコンピュータ・プログラムで、ワールド・ワイド・ウェブを探索するために使われる。

チャットルーム：インターネットその他のコンピュータ・ネットワーク上でユーザー同士がコミュニケーションできる場所であり、典型的には特定の1つのトピックに集中する。

ダウンロード：あるコンピュータ・システムから他のコンピュータ又はディスクにデータをコピーすること。

電子メール：あるコンピュータ・ユーザーから別の1人以上の受信者に対してネットワークを介して電子的手段でメッセージを送るシステム。

ギガバイト：10億バイトに相当する情報単位。

インターネット：コンピュータをつなげる国際的な情報ネットワークで、一般市民はモデム接続を介してアクセスできる。

メガバイト：データの大きさ又はネットワークの速度の単位で、100万バイト又は1,048,576バイトに相当する。

ログイン/ログオン、ログオフ/ログアウト：コンピュータ・システムの利用を開始又は終了させる手続きを行なうこと。

モーフィング：コンピュータ・アニメーション技術を使ってある画像を別の画像に滑らかに、徐々に変化させること。又は、そのようにして作られた画像。

ニュースグループ：共通に関心のあるトピックに関して電子メールを交換するインターネット・ユーザーのグループ。

スキャナ：文書を走査し、デジタル・データに変換する機器。

ソフト：プログラムその他のコンピュータが用いる動作情報。

アップロード：より大きいコンピュータ・システムにデータを伝送すること。又は、アップロードする行為若しくはプロセス。

Usenet：何千ものニュースグループで構成されるインターネット・サービス。

ウェブページ：ワールド・ワイド・ウェブを介してアクセス可能なハイパーテキスト文書。

ウェブサイト：インターネットにつながっており、1つ以上のウェブページを収めている場所。

W. W. W. (ワールド・ワイド・ウェブ)：インターネット上の広範な情報システムで、ハイパーテキスト・リンクによって文書同士をつなげることを可能にする。



インターネット上の情報を閲覧する場合に、利用者が不適切と判断するWebページをフィルタリングするためのソフトウェアやサービス、Webサイトの作成者が自分のサイトをレーティング（格付け）するためのサービスを無償で提供しています。例えば学校では生徒に、自宅では子供に、企業では従業員に、それぞれ不適切と判断されるWebページを見せたくない場合、当協会のフリーソフトウェアやサービスをお使いください。

レーティング／フィルタリング情報
<http://www.iajapan.org/rating/>

子供がインターネットを利用する際のルールやマナーを教師や保護者と相談しながら身に付けていけるように、子供が読む「こどもばん」と、子供を指導する立場で読む「教師・保護者版」の2つのルールとマナー集を掲載しています。

インターネットを利用する子供のためのルールとマナー集
<http://www.iajapan.org/rule/rule4child/>

お問い合わせ先／財団法人インターネット協会
E-mail : info@iajapan.org





インターネット 〈新しい技術とは何か、そしてそれはどのようなものであるか? ◆ISPとは何か?なぜISPが重要なのか? ◆どのようにコミュニケーションするか? ◆危険はどこにあるか? ◆子ども搾取者がよく利用するソフトはその他にどのようなものがあるか? ◆なぜ子ども搾取者は新しい技術を好むのか?〉

法的問題 〈子どもポルノとは何か? ◆なぜ子どもポルノが重大な問題であるのか? ◆国際的にどのような措置が講じられているのか? ◆主要な法的問題は何か? ◆表現の自由についてはどう考えるか?〉

子どもたちを守るために 〈インターネット上で子どもたちを守るためには何ができるか? ◆フィルタリング/レイティング・ソフトのパッケージとはどのようなものであるか? ◆現在何がなされているか? ◆あなたには何ができるか?〉